

REPORT

ご家族の皆さんへお伝えしたい。

お一人お一人に合った排泄ケアを—。

排泄委員会をつくり、課題解決に取り組んでいます。

当苑では、利用者の皆さんに苑での生活を快適に楽しんでいただくために、排泄委員会をつくり、お一人お一人に合った排泄ケアについて検討しながら、課題解決に取り組んでいます。

排泄の支援は、生活全般の支援にもつながります。例えば、Yさんの場合、入所時はオムツを使っておられましたが、トイレで排泄したいという意思を持っておられました。そこで、私たち介護者は、身体的にも可能だと判断し、段階的にトイレに誘導しながら介助を行い、今では、職員が見守りを行う程度でトイレ排泄ができるようになりました。現在、ご本人の生活意欲が向上し、レクリエーションや行事にも積極的に参加されるようになっています。

明星苑コスモス ZOOM UP

8月、夏祭りを開催しました。
地域の皆さんとの交流、良い思い出。



今年も盛大に「夏祭り」を開催しました。正福寺幼稚園の皆さんによる歌と踊りや東国分アロハ会の軽やかなフラダンス、歌手の「ヒデオ銀次」さんの歌謡ショーなど、催しも盛りだくさん。屋台では、職員手作りの焼きそばは200食売切れと、大好評。多くの皆さんと、楽しいひと時を過ごしました。

9月、敬老会を催しました。
長年のご苦労に感謝をこめて！



節目の歳の皆さんへの表彰式では、盛大な拍手に、皆さんも満面の笑顔になっておられました。職員によるバナナの叩き売りは、利用者の皆さんも大爆笑！職員のご家族より、お祝いの詩吟の披露もあり、その素晴らしい声に皆さんも聞きいておられました。

ボランティア・タイム

「お茶会」を開きました。

「一期一会」のひととき、楽しみましたね。



10月、3階の茶室・多目的ホールを会場に、「お茶会」が開かれました。裏千家教授会メンバーの谷口一子さんを始め、川村芳子さん、黒川千秋さん、そして辻久見子理事長夫人の4名によるご奉仕です。

お茶会の第1回目は、1997年9月以来、毎月1回開いておられます。会場には、30名を超える利用者の皆さんが出でます。谷口さんは、「心からたままで、どうぞ、ゆっくりめしあがってください」と話され、抹茶がふるまわれました。皆さん、楽しんでおられ、まさしく、「一期一会（いちごいちえ）」のひとときでした。

10月の運動会で、
思いきり体を動かしたね。



スタッフとの息もぴったり。
ねらいを定めて、やるぞ！

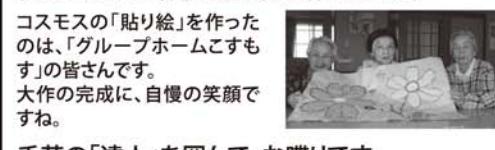
「コスモス見学」の素敵な写真ですね。



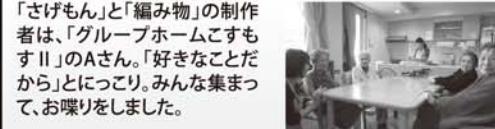
10月、北野町のコスモス街道へ行きました。
ピンクや赤、きれいな花々の横で、うつとり。
笑顔もとても素敵ですね。

「表紙の作品」

私たちが、「大作」の貼り絵を作りました。



手芸の「達人」を囲んで、お喋りです。



オムツ処理パック
「エコムシュウ」を導入しました。

使用済みオムツやパット類は、匂いが気になります。当苑では、これらをビニールで密閉する使用済み紙おむつ処理機「エコムシュウ」を8月に導入し、匂いを減らすことができました。合わせて、感染症対策にも効果があります。

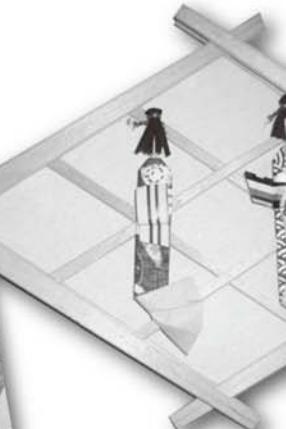


コスモス

誰を想って作ったのかな？お話、聞かせて。



明星苑コスモス
陶芸のお皿（上）
「明星苑コスモスデイケア」と
書いておられます。
生け花（下）



グループホームこすもす
京人形の壁掛け（左）
コスモスの貼り絵（右）



グループホームこすもすII
さげもん（左）
編み物（右）



明星苑コスモス、グループホームこすもす、グループホームこすもすIIから、素敵な作品が届きました。

今回から2回シリーズで、利用者の皆さん的作品をご紹介します。

4頁では、制作した皆さんを紹介しています。

一日を楽しく過ごしていただるために、
笑顔をモットーに！

私たち通所リハビリテーション（デイケア）の職員は、「おはようございます」の元気なあいさつと利用者の皆さんの笑顔から、一日が始まります。利用者の皆さんの趣味を活かしたレクリエーションは、カラオケ、運動（輪投げなど）、作業（切り絵、手芸など）、書道、生花、陶芸教室と多彩な内容で行っています。作品を制作中の皆さんは真剣そのもので、完成した作品はとても素晴らしい、それぞれ個性的なものばかりです。苑内に展示し、利用者やご家族の皆さんに見てもらっています。

苑外活動では、春の暖かい日に浦山公園の桜、バラで

明星苑コスモス
通所リハビリテーション 主任 飯田 奈保子

有名な石橋文化センターへ、秋は北野町のコスモスと、季節の花々を楽しみに出かけています。また、皆さんの楽しみのひとつは、お風呂です。ゆっくり入浴して、機能の維持向上のためにリハビリを行っている皆さんのお手伝いをしています。

あっと言う間に一日が終わり、次の利用を楽しみに帰宅されます。私たち職員も、皆さんの笑顔とパワーに負けない、そして笑顔の絶えない明るい一日を過ごしていただけよう、今後ともお手伝いをしたいと思います。

特集 通所リハビリテーション

「レクリエーションって、楽しい」

あちこちで、そんな声が一。

私たちのデイケアだからこそ、楽しめることがたくさん。

通所リハビリテーション(デイケア)の利用者ご家族から、こんなお話をありました。

「楽しそうに帰ってきますよ。どんな風に過ごしているのかな」

例えば、デイケアの中でも、レクリエーションは、利用者の皆さんにとって、

とても楽しみな催しのひとつ。今回は、その様子をご紹介します。

明星苑コスモスの多目的ホールに足を踏み入れると、楽しそうなカラオケの声が響いてきました。午後の「グループレクリエーション」です。今日は、書道と切り絵、カラオケ。今回は、書道をされる方が多いようです。

利用者の樋口英子さんは、筆を休めてこう話されました。
「子どもの頃、習字は必修科目。厳しく教えられて、上手な人は廊下に貼り出されていましたよ。次は、清書!」

皆さん、とても姿勢が良く真剣な表情です。通所リハビリテーション主任の飯田奈保子さんは、「レクリエーションは、やる気と楽しみが大事」と話します。「書道は、腕を使い、筆を握るということから、リハビリにもなります。筆先で力をいれたり、止めたり。きっとお家に帰ったら、肩がこるのでと思いますが、毎回、楽しみに参加されています」



写真は樋口英子さん

「いっぱい書きましたね。線がきれいに伸びています」
皆さんのうれしそうな笑顔。
「サンキュー!」
こういう会話が、皆さん、楽しいのですね。
飯田主任「学校以来、筆を持ったことがないという皆さん、今まで機会がなかったので、喜んでいただいている」



切り絵も楽しいですよ



写真は古賀ツキエさん

別日の話題は、談話室の広場で、「わあ、すごい! 500点!」という歓声と拍手が響きました。10名の皆さんがあつまつて、輪投げの運動です。利用者の井上榮子さんは、輪投げに挑戦。「ふだんはカラオケばかりですが、運動もいいね。全身を使って投げ、みんなと笑い合うのが楽しい。たまに違うことをすると気持ちが変わるね。休憩したら、またします」

当院では、毎月のスケジュールを掲載する「コスモスだより」を出しています。事前に曜日によって、好きなレクリエーションを選ぶことができます。新たな趣味を見つめたり、お友だちを増やしたり、楽しいひとときをお過ごしください。



写真は井上榮子さん



「いっぱい書きましたね。線がきれいに伸びています」
皆さんのうれしそうな笑顔。
「サンキュー!」
こういう会話が、皆さん、楽しいのですね。
飯田主任「学校以来、筆を持ったことがないという皆さん、今まで機会がなかったので、喜んでいただいている」

SPECIAL TALK 百歳万歳!!

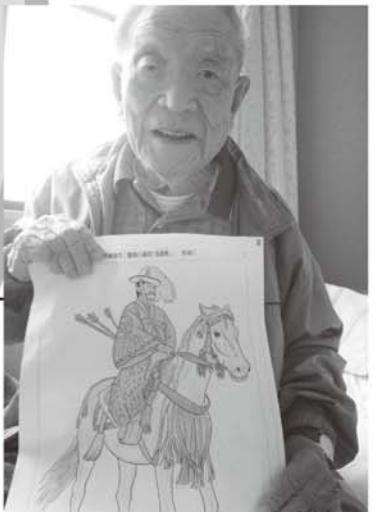
※このコーナーでは、百歳を前にした皆さんのお話を掲載しています。

建築士として50年余、図面を書き続けてきました。

人間は、目配り、気配りが大事です。

坂田 琢摩さん 95才

1916年・大正5年生まれ 明星苑コスモス



▲これが、お気に入りの作品「流鏑馬(やぶさめ)」。衣装の模様を青、赤できれいに色分けしておられます。見事です。
「3人の子どもに見せると、みんな、驚いて見りますよ(笑)」

坂田さんは、長年、二級建築士として設計事務所を経営してきました。それも、「独学」という努力家の方です。

「人に仕えるのは嫌で(笑)、自分で思うように設計したかったのです。木造の住宅を建てる時には、部屋の広さに対して幾つの窓をつくるなど、いろいろ考えるのがおもしろかったです。勿論、責任の重さもありました」

当時は、満洲やシベリアにも乞われて出

かけて行き、日本の建築技術を現地の皆さんに教えたと言います。

「私は負けず嫌いでいたから、一生懸命に努力をしてきたと思います。今、若い人に伝えたいことは、人間は、目配り、気配りが大事だということです」

明星苑で暮らす中で、坂田さんが好きなことのひとつが、ぬり絵です。色鉛筆で、丁寧にぬった一枚一枚に、坂田さんのお人柄が伝わりました。

PHOTO SKETCH

わあ、出てきた! 豊作だよ!
10月、芋の収穫をしました。
グループホームこすもす



思わず、やったー!
はい、記念写真!

10月、施設の横にある畑に、皆さん集合しました。
「腰を痛めないようにね。足元、気をつけてください」

サツマイモ掘りがスタート。あっという間に、「出た! 出た!」と、大きな声が。今年は豊作です。6月に芋植えをして、みんなで時々、丁寧に草取りをしたこと。

管理者の棚町澄江さんは、「毎年、皆さん、収穫が楽しみなのです」と話します。

「みんな、お芋が大好き。料理でも楽しめますよ。味噌汁や煮物、それに蒸しまんじゅう、今日はまた、食卓が賑やかになります」

青空の下、体を動かして土の香りをかいだ、皆と笑いあって、楽しいひとときでしたね。

クワの扱いが、なかなかのものです。



「巨峰狩り」に行きました。
「また、行きたいです」と、
大好評。

ケアハウス コスモス21



おやつ作り、洗濯物の片づけ。
ほら、家族みたいでしょ。
グループホームこすもすⅡ



手伝いましょう!

10月、みんなで、おやつの「いきなり饅頭」を作りました。あんこをのせて、小麦粉を練って伸ばして巻いて、自分で作っていきます。体調が良いときは、入所者の皆さん、サツマイモを洗ったり、台をふいたりとお手伝いされます。「できることはしたい」という、皆さんのご希望なのです。

ホーム長の永尾澄子さんは「皆さん、台所仕事を一生懸命にされてきた大先輩。私たちや男性スタッフが台所にいると、気になられるのでしょうか。お茶碗を洗ってくださったりして、すっかり家族になっているのだと思います」



夏の暑い日差しが残る好天日に、今年も恒例の「巨峰狩り」を行いました。当日は、多くの入居者の皆さん、お弁当も持参し、期待に胸を膨らませて、いざ、目的地の(田主丸町)へ出発しました。皆さんは思い思いに葡萄の房を品定め、籠にたくさんの巨峰を摘み取り、大変満足されたご様子。帰りの車中では、現地での感想、次回また行きたいというお話で盛り上がり、楽しいひとときでした。